

避難生活の中で感じていること、困っていること。
除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。
ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



藤井 マサイさん(上飯樋)

今一番気がかりなのは、避難指示解除後の生活の補償についてです。一昨年に家のリフォームはしていますが、帰っても農業はできないのではないかと、暮らしの面が心配です。

藤井さんのように「村に帰りたいけれど、帰ってどのような暮らしができるだろうか」とお考えの方が多くおられます。

避難解除となっても、すぐに避難前と全く同じ生活を再現することは難しいと思います。暮らしを取り戻していく過程における生活支援は欠かせないものであり、村では国に対して要望を行ってきております。

また、環境省による農地除染と並行して、平成24年度から除染完了農地で水稲や野菜の試験栽培を実施し、農作物に放射性セシウムを吸わせない栽培方法のデータを蓄積してきています。今後、行政区ごとに福島県営農再開支援事業を活用して農地保全や鳥獣害対策等を実施する農業復興組合の設立を進め、地区ごとでも農作物の試験栽培等を実施していきたいと考えています。

村では、今年営農再開検討会議(仮)を立ち上げます。いいたてまでの復興計画(第5版)の提言を受け、営農再開に向けての目標となる具体的なビジョンについて、この会議で検討していきたいと思っています。

将来の営農再開に向けてご要望やご質問がある方は、村復興対策課農政係(飯舘村本庁舎 ☎0244-42-1621)までお問い合わせください。



木幡 ヒロ子さん(伊丹沢)

「飯舘村デジタルアーカイブ」が開設され、スマートフォンやタブレット端末などを使って見えます。知っている人が写っていないか探するのも楽しいですね。

去る5月15日に開設した「飯舘村デジタルアーカイブ」には、昔懐かしい風景から現在のようすまで、さまざまな写真や資料がアップされています。また、「暮らし」「自然」「大震災」などの分類や、年代ごとに整理されていて、見たい写真や資料が探しやすい画面になっております。ぜひ引き続きご利用ください。この「飯舘村デジタルアーカイブ」は、パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどでご覧いただけます。機器をお使いになれる方はご自身でご覧になる他、お年寄りと一緒に見ていただくなど、さまざまにご活用いただければ幸いです。

村のデジタルアーカイブ事業では、村に関する文書や写真、文化資源の記録などをデジタルデータで保存し、整理や保管・公開を行っています。今後も資料の収集や、追加の公開などを行ってまいりますので、使ってみた感想や、公開内容についてのご希望などあれば、ぜひ担当までお寄せください。

担当：村総務課企画係(飯野出張所 ☎024-562-4246)

いいたて 歳時記

ならわしや季節のあれこれ

その③

「ばったぶち」と「ちゃつくつき」
懐かしい遊び、「ばったぶち」や「ちゃつくつき」は知っていますか。

「ばったぶち」は、メンコのこと。お祭りやオオムラヤ(雑貨屋)で売られていたが、自分で紙を切って作ることもあり、相手のばったを棒の外に出すやり方や、裏に返すやり方などルールはいろいろで、「あおり」「さっこみ」「押し出し」「角出し」などの技があり、勝てば相手のばったがもらえます。ばったに口を塗ったり、半纏で風を起したりする奥の手もあり、何を反則にするかは地域や仲間決めて遊んでいました。

「ちゃつくつき」はお手玉のこと。「いしなご」と呼ぶ地区もありました。メリンス生地を俵型に縫って、チャックチャックと音がいい小豆を入れて作り、米ぬか、砂や石を入れたものもありました。「ちゃつくつき」にはいろいろな歌があり、歌いながら遊びました。

昔の子ども(お年寄り)の中には、今でも「ばったぶち」や「ちゃつくつき」の名人がたくさんいるんですよ。

参考：「おばあちゃん、おじいちゃんの知恵袋」
村教育委員会発行



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
高橋 歩来くん	由守・洋子	長泥
高橋 杏奈ちゃん	祐樹・祐子	比曽
菅野 麗魂くん	一成・美幸	白石

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
菅野 邦彦	宮内
吉川 幸枝	茨城県

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
杉下 浩章	33	長泥
菅野 佐知子	86	長泥
高橋 馨	83	伊丹沢
田村 トシ子	86	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成27年6月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	2900 (+2)	2904
女	2976 (+1)	2993
計	5876 (+3)	5897
世帯数	1617 (±0)	1638

5月1日～31日までの
◆人口動態◆

転入	7人
転出	4人
出生	3人
死亡	3人

(平成22年国勢調査に基づき増減された人口)

編集後記

「30年後の村を考えると」「30年後の為にできること」「この問いかけに村小生が向き合いました。これは小学6年生が7月19日から22日まで沖縄で研修を行う「沖縄までの旅」の事前研修での一面です。▼集まった子ども達からは「野菜おいしかったよ」「緑がいっぱいだったよ」「震災前の村の思い出話もチラホラ」「30年後には遊園地やテーマパークが欲しい」「ずっと自然が豊かであって欲しい」「たくさん観光客が訪れる村になって欲しい」「村を上から見渡せるような乗り物があった欲しい」など、子どもらしい夢のある考えがたくさん出ます。取材しているこちらも笑顔になるような時間です。▼30年後の為に「村の良さを伝える」の問いに「村の良さを伝える」という気持ちが大切です」と答えがありました。▼大人でもそう簡単ではない質問に、さわやかに笑顔で答える子ども達に、驚きといたってつ子の未来に期待を感じました。(木幡)